



Aug 15, 2022

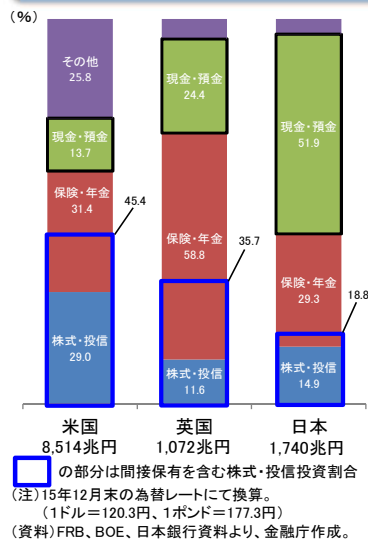
II. 金融行政の重点施策に関する進捗・評価(3/7)

2. 活力ある資本市場と安定的な資産形成の実現、市場の公正性・透明性の確保

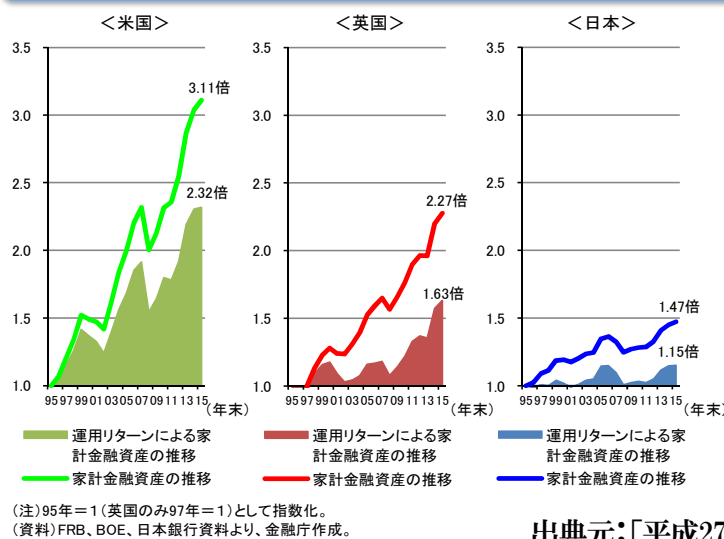
国民の安定的な資産形成の促進:「貯蓄から資産形成へ」(1/2)

- 我が国家計金融資産の52%が現預金。米英に比べ株式・投信等の割合が低い
- 家計金融資産の構成の違いが、過去における我が国家計金融資産の伸びが米英に比べて低いことの要因に
- 投資対象と投資時期の分散を行うことで、中長期的に安定的なリターンを実現することが可能
 - ✓ 投資対象をグローバルに分散させることで、世界経済の成長の果実を享受することが可能に
 - ✓ 投資時期の分散(積立投資)により、高値掴み等のリスクの軽減が可能に
 - ✓ 長期で保有することにより、リターンの安定化が可能に

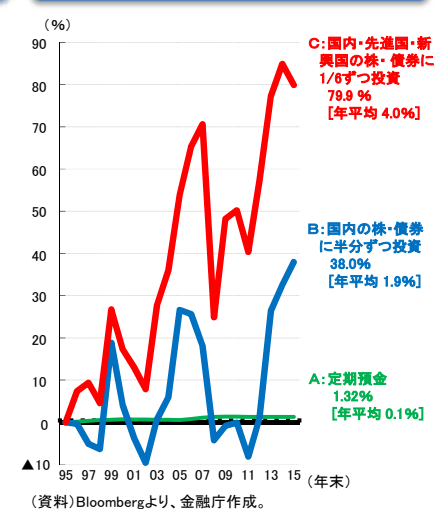
各国の家計金融資産構成比



各国の家計金融資産の推移



長期・積立・分散投資の効果

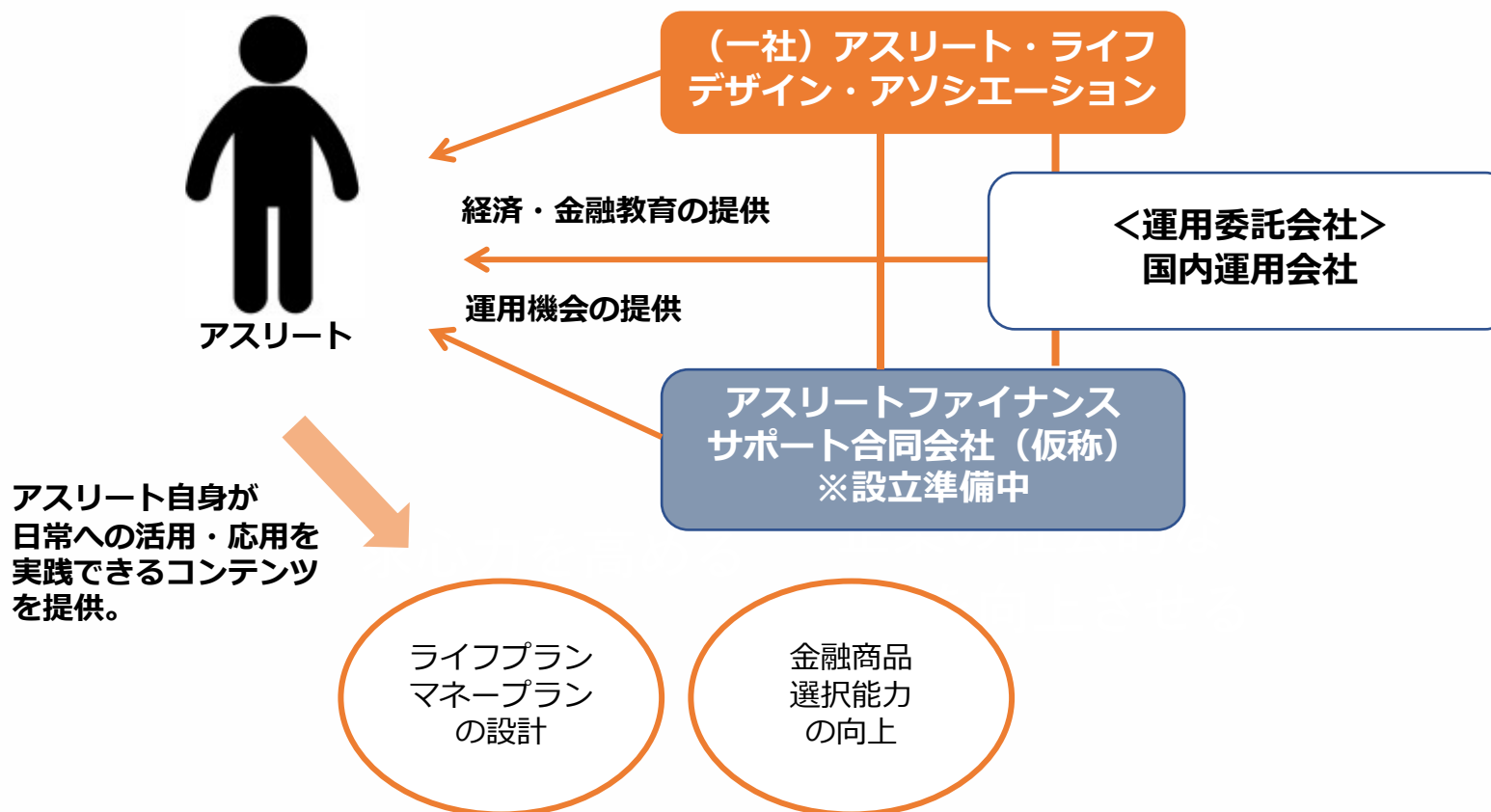


出典元:「平成27事務年度金融レポート主なポイント」5

金融庁も海外との金融格差を情報として開示し、金融リテラシーの向上と投資の実践を促していますが、まだまだ日本では「投資や運用は怖いもの」という意識が強く感じます。ALDAではアスリート視点でこのような現状をより良く変えていきます。



- アスリートのライフサイクルを考えた場合に現役時期の収益をある程度有効活用できる仕組みが必要と考えます。現役時期の蓄えの一部を、安定的な運用で資産増大が可能となれば、キャリアチェンジの際の選択肢が大幅に増える可能性が高く、とても重要なポイントです。その際に必要最低限の知識と、信頼できる運用環境が必須となります。知識のインプットと共に高品質な運用機会を提供していくことを目指します。

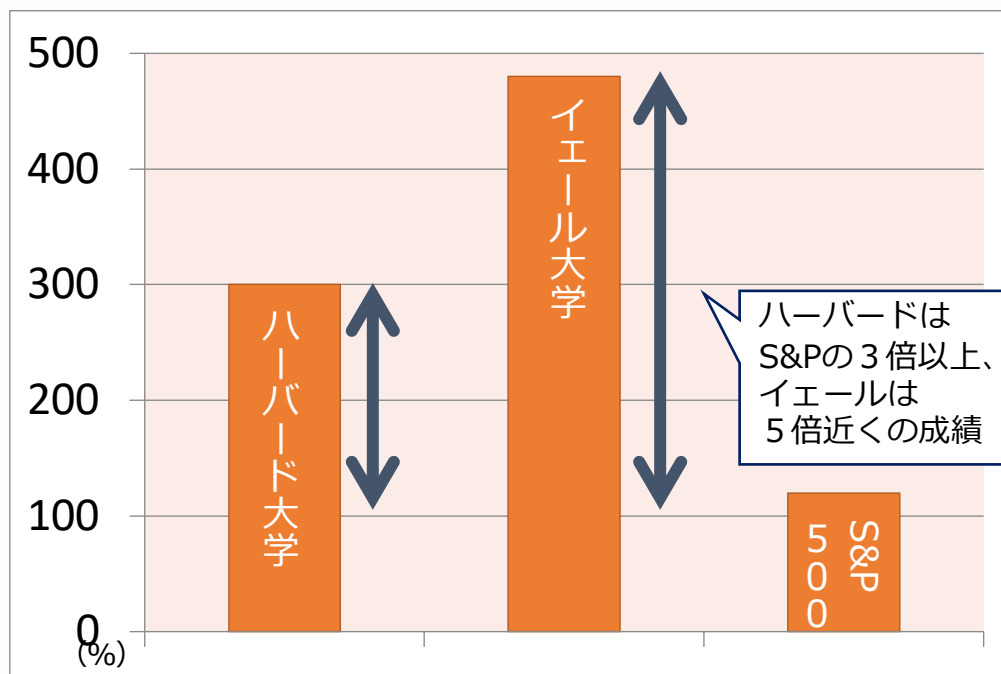


—新しい時代のファイナンスサポートのコンセプト—

○先進的な機関投資家 米国エンダウメント（大学財団）の運営に学ぶ

資産運用の世界で長く畏敬の念を持って知られる機関投資家は米国エンダウメント（大学財団）、特に『イエール大学』『ハーバード大学』が双璧とされています。共に4兆円を超える規模の資産を積極的に運用し、過去20年前後にわたり、年率10%を超えるリターンを実現し続け、大学の運営や競争力の源泉とされる財政力の飛躍的向上に貢献しています。ALDAではこの『エンダウメントの投資戦略』を個々のアスリートに提供できるストラクチャーを追求していきます。

○米国エンダウメント運用成績(過去20年間)累積リターン比較

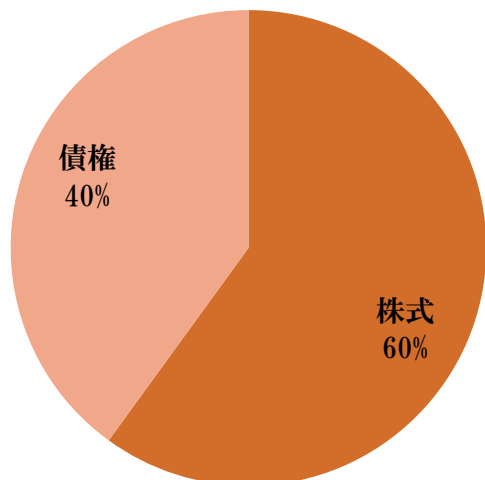


20年平均値	資産規模	年平均リターン	備考
イエール大学	約4兆6,530億円 (約423億ドル)	約11.3%	直近10年平均約12.4%
ハーバード大学	約5兆8,300億円 (約530億ドル)	約9.5%	
S&P 500		約6.78%	

イエール大学では、35年平均年率13.1%という驚異的な数字で資産を約24倍にも増やしています。大学基金は大学運営に運用分を少しづつ切り崩し使いますが、切り崩さずに、純粋な複利運用の場合は、約74倍にも増やせる計算になります。

出典元：イエール大学の投資戦略・エンダウメント投資戦略・Bloomberg記事

機関投資家の代表的運用ポートフォリオ例



○一般的な機関投資家が主流としてきたポートフォリオ
株式や債権といった伝統的投資手法を中心とするポートフォリオが一般的であった。
未だに個人投資家でもこのような伝統資産のみのポートフォリオが多い。

①中長期で投資する

- ・最悪の時期の損切りや必要のない早期の利益の防止 (短期市場変動への対応)
- ・無駄な売買コスト等防止
- ・短期投資では不可能な資産や戦略への投資が可能

②分散投資を徹底する

- ・ウィリアム・シャープ、ハリー・マーコウィッツのポートフォリオの分散効果理論 (ノーベル賞経済学者の現代証券投資理論に基づく)
- ・予想されるリスクに対してリターンを最大化する

③オルタナティブ投資を積極的に活用する

- ・伝統的投資だけでなく分散投資することで中長期的な成長が見込める。
- ・市需要と相関性の低い資産への投資

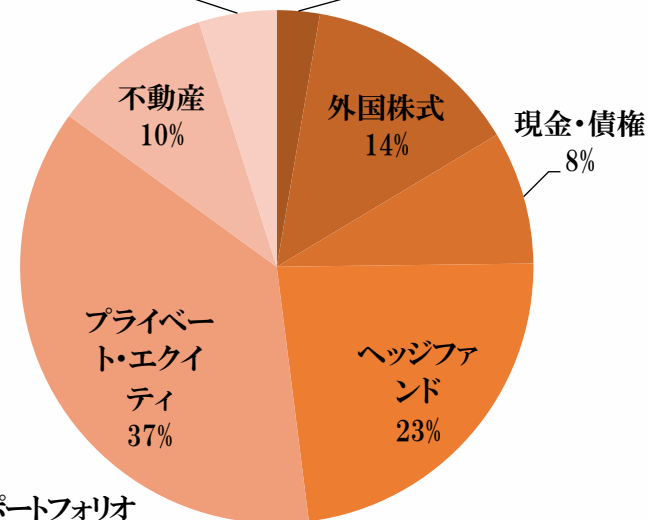
④外部の運用会社を使う

- ・相場の子想や銘柄選択の為の調査は専門家に依頼し、じっくり付き合う
- ・個人投資家が幅広い市場での分散運用を行うのは困難(プロには勝てない)

⑤良い運用会社を選び
長く保有 頻繁な売買はしない

- ・頻繁な売買による高コスト低リターン、元本毀損防止 (イエール20年以上保有、日本人の投信平均保有年数は2.5-3年)
- ・パートナーとしての信頼関係構築

イエール大学のポートフォリオ例
国内株式 3%
実物資産 5%



○イエール大学のポートフォリオ
株式や債権など伝統的投資手法だけでなく、オルタナティブ投資を積極的に導入し成功している。

資産分配
アセットアロケーション

- ・資産配分はどのような資産クラスにどの程度の割合 (ターゲットポートフォリオ) を割り振るかを決定する重要なプロセス
- ・分散をしっかり図ることと、税金対策(節税)も重要な要素
- ・ハリー・マーコウィッツ博士(ノーベル経済学賞)『ひとつの籠に卵を盛るな』

投資時期
マーケットタイミング

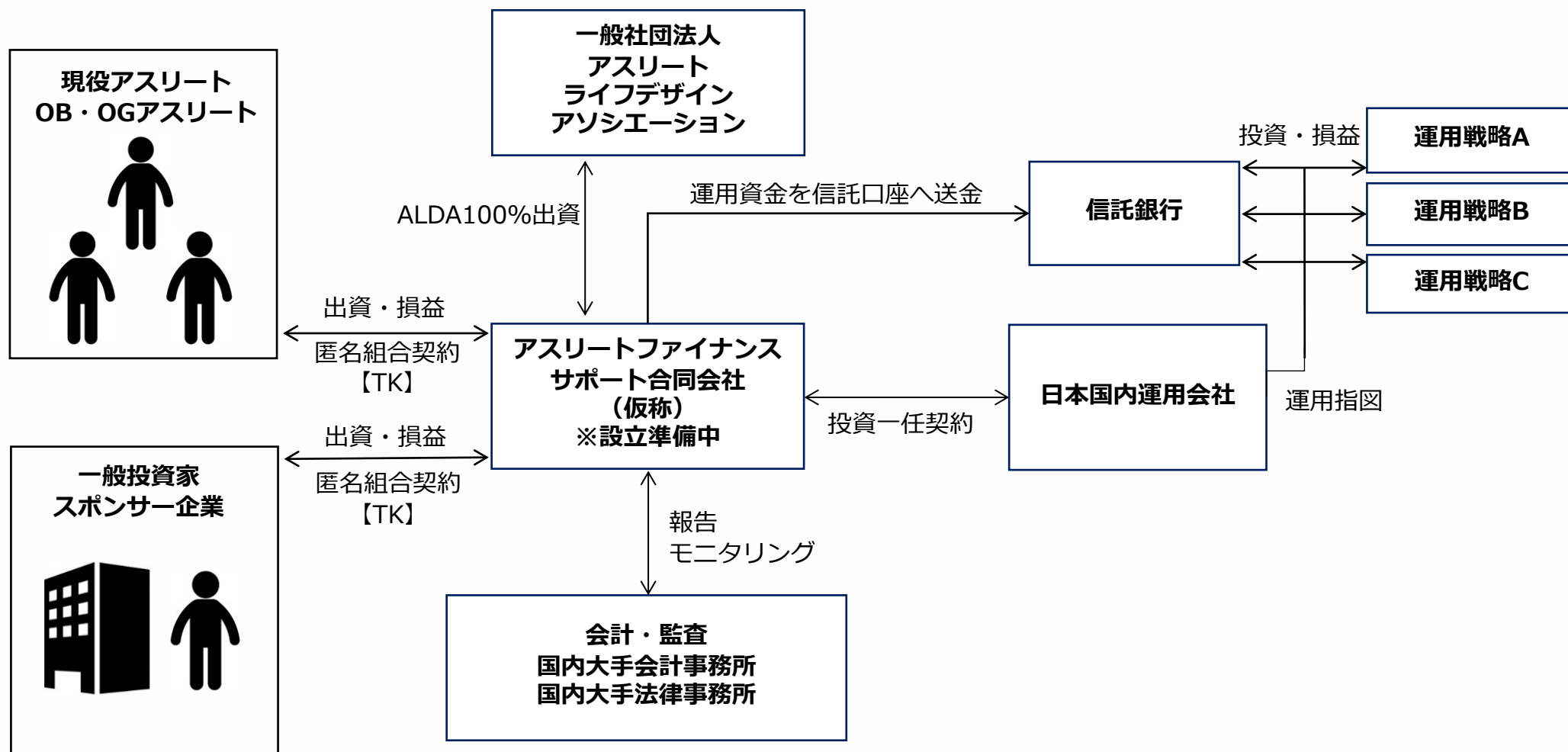
- ・タイミングを分散させる
- ・『リバランス』でポートフォリオを再調整する(ターゲットの実現、極端な市場変動に対する対策)

投資対象銘柄
ファンド選択
マーケットセレクト

- ・運用そのものは外部の運用会社へ委託 (個人投資家がプロ同士の厳しい競争の市場を出し抜いて高いリターンを得ることは困難。)
- ・実際の運用の内容はとても重要な判断

—新しい時代のファイナンスサポートのコンテンツ—

日本の現状とエンダウメントの考え方を踏まえ、アスリートのライフスタイルに適合したアスリートのためのコンテンツを構築します。現在、国内の数多くの機関投資家の資金を運用している厳格な運用会社を選定中です。



* 当資料はALDAが提供する業務の概要についてご案内すること等を目的として作成した資料であり、特定のファンドへの投資の勧誘を目的としたものではありません。また具体的なストラクチャーが変更になる場合もございます。当社の事前の了承なく複製、第三者への配布又は転載等を行わないようお願い致します。当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。